

Corporate Report 2019.9

SPACE

商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

2019年12月期第2四半期 決算の概要

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2019年12月期第2四半期決算が終了しましたので、その概要をご報告いたします。当社グループの上期業績は、売上高231億81百万円、営業利益17億64百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益12億6百万円と、前年同期比で増収増益となりました。消費者の節約志向等から商業店舗の出店は慎重な動きが続いておりますが、ホテル関連施設や教育関連・冠婚葬祭施設といったサービス分野の売上が増加したこと等により、全体で2.8%の増収となりました。加えて、中期経営計画に基づき、原価計画の徹底等による外注費率抑制の取り組みを継続しており、売上総利益は12.8%の増益となりました。一方で、社内体制整備に注力していることから、人材開発に伴う投資やIT関連投資の増加により、販売費及び一般管理費が増加いたしました。この結果、営業利益は0.9%の増益となり、営業利益率は0.2ポイント減少いたしました。



代表取締役社長
佐々木 靖浩

通期見通しについて

通期業績予想は、売上高510億円、営業利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億5千万円としております。本年は下期により多くのSC(ショッピングセンター)の開業が予定されており、当社グループにおきましても、6月末時点の受注残高は前年同期比19億58百万円増の81億64百万円と、下期以降に完成が見込まれる物件が例年より多くある状況となっております。

引き続き、情報収集と営業活動を強化して売上高確保に努めるとともに、生産性と収益性を向上させ、通期での業績予想達成に向け努力してまいります。

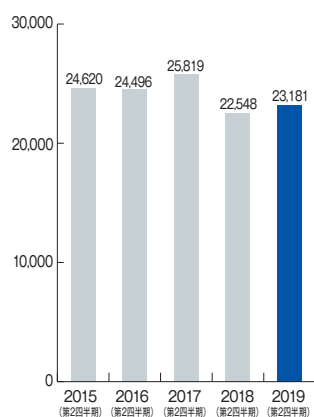
株主還元について

中間配当は期初予想通り前年比2円増配の1株当たり27円とさせていただきます。期末配当は27円を予定しており、年間配当は54円の見込みとなっております。引き続き、配当性向50%を目標とし、株主の皆様への利益還元を継続してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

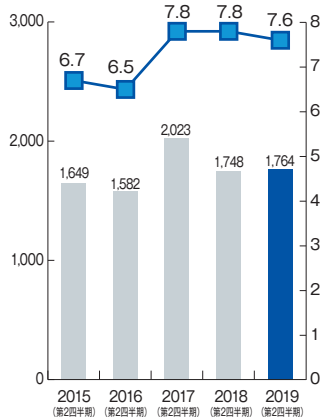
※本年度より連結決算に移行したため、前年度単体と本年度連結の比較を行っております。連結決算についての詳細はp.3に記載しております。

財務ハイライト

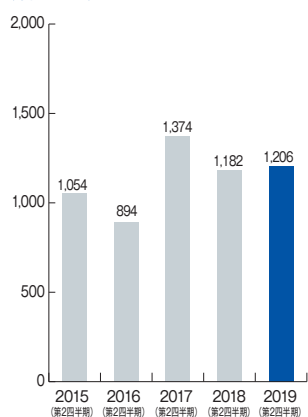
■売上高
(単位:百万円)



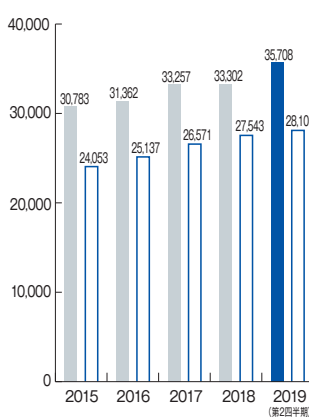
■営業利益 ■営業利益率
(単位:百万円) (単位:%)



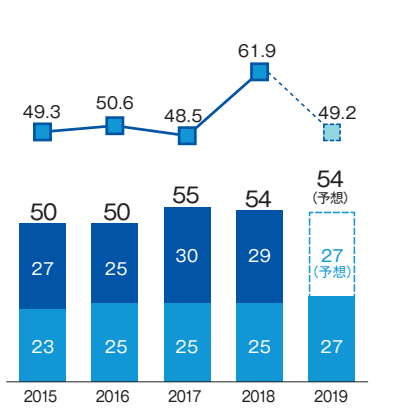
■親会社株主に帰属する
四半期純利益
(単位:百万円)



■総資産 □純資産
(単位:百万円)



■1株当たり配当額 ■配当性向
(単位:円) (単位:%)



※2019年度(当期)より連結決算となります。

市場分野別概況

市場分野別 比較分析

POINT 1

食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、前年同期に比べ大型のリニューアル案件が減少したことや、出店に慎重な動きがみられたことから、売上高は減少いたしました。

POINT 2

飲食店分野では、業界において原材料価格の高騰や人手不足による出店抑制があったものの、新規顧客の獲得により、売上高は増加いたしました。

POINT 3

サービス等分野では、ホテル関連の新規顧客が増加したほか、教育関連施設や冠婚葬祭施設の取り組みにより、売上高は増加いたしました。



※本年度より連結決算に移行したため、前年度単体と本年度連結の比較を行っております。
連結決算についての詳細はp.3に記載しております。

複合商業施設・総合スーパー

京都駅前地下街ポルタ西エリア

クライアント：京都ステーションセンター株式会社様
所在地：京都府京都市



各種専門店

UNIVERSE 名古屋

クライアント：株式会社ネクステージ様
所在地：愛知県名古屋市



サービス等

神戸新聞社播磨製作センター工場見学プロジェクト

クライアント：株式会社神戸新聞社様
所在地：兵庫県姫路市



Project

「産学連携」の力で、地域の想いを実現せる 名古屋市東谷山フルーツパーク

クライアント：公益財団法人名古屋市みどりの協会 様
OPEN：2019.3.18
所在地：愛知県名古屋市
業務範囲：設計/デザイン/全体監修

当社は名古屋で創業した地元企業として、名古屋市みどりの協会様と金城学院大学が推進する東谷山フルーツパークのリニューアルプロジェクトをサポートしました。

1980年に開園した東谷山フルーツパークは、長年にわたり市民と自然のふれあいの場として親しまれてきましたが、開園から長い年月が経過し、園内施設の老朽化が問題となっていました。同パークの指定管理業者である公益財団法人名古屋市みどりの協会様は、金城学院大学・弓立順子教授にプロジェクトへの参画を依頼。弓立教授のもとで学んだ学生が当社に勤務しているという巡り合せもあり、ここに3者協働、産学連携によるリニューアル事業が始動しました。

当社は、商空間づくりの豊かな経験のなかで培ってきた多彩な知見やノウハウを投入

して、フルーツパークの空間づくりをサポート。弓立研究室の学生は、レストハウスのデザイン企画やマルシェ(売店)とレストハウスの共通ロゴの立案などに力を振るいました。とくに実際のリンゴ箱を使った演出は学生らしい自由な発想を感じさせるものとなっています。リニューアル工事は2019年3月に完了。リニューアルによって、職員のモチベーションも格段に向上するなど、実り多いプロジェクトとなりました。

プロジェクトメンバー



レストハウス&マルシェ/
設計・製作推進
加藤 政臣
名古屋第1事業部



マルシェ/
企画・デザイン
濱田 千智
名古屋第3事業部



Topics 「中部卒業設計展2019」に協力

～中部地区の建築学生の活動をバックアップ～

当社はNAFの活動主旨である「中部地方建築界の活性化」に共感し継続的な活動支援を行っています。本年3月、名古屋市で開催された「中部卒業設計展2019」において当社は、審査員控え室「HACO×HACO」の制作を手掛けました。

中部卒業設計展は、中部地方の180名を超える建築学生で構成される有志学生団体、NAF (Nagoya Archi Fes) が企画・運営する卒業作品の審査会であり、第6回を迎えた今年は、中部地区の大学、短大、高専、専門学校に在籍する建築学生の手掛けた卒業制作80点がエントリーしました。

中部卒業設計展では、審査員と出展者が直接言葉を交わす機会が多く設けられています。例年、審査員が休憩・待機する審査員控え室はパーティションを立てただけの簡素なものでしたが、会場を魅力的な空間に変える「印象装置」と位置づけるとともに、クリエイターの卵でもある学生たちと協調して、フレキシブルな箱形ユニットとして完成させ

ました。この「HACO×HACO」は、卓越した意匠、高い安全性、優れた機能性を兼ね備えたおもてなし空間として審査員の方々はもちろん、来場者からも高い評価を頂いています。

設計・施工に携わった学生からは「企画・制作のプロであるスペースの方々とともに働くことで、今までになかった気づきを得られました。また最良のものづくりとは何かを考える良い機会となりました」といった声が聞かれました。



株式会社エム・エス・シー 代表取締役 新井 幸雄

会社概要

名 称	株式会社エム・エス・シー
所 在 地	東京都港区南青山 2丁目 27-28 グラン青山 401
代 表 者	代表取締役 新井 幸雄
事業内容	1. 商業施設の総合プロデュース業務 2. テナントリーシング業務 3. 商業施設の企画・開発の コンサルティング業務
資 本 金	1,000万円(スペース51%出資)
設 立	1985年(昭和60年)2月26日

【グループ会社紹介】株式会社エム・エス・シー ～商空間プロデュースに向けて～

株式会社エム・エス・シー(MSC)は、2018年2月に株式会社スペースと資本業務提携を締結し、グループ会社となりました。商業施設の調査・分析、コンセプト・MD計画立案、テナントリーシング、プロパティマネジメントなど、商業施設のプランニングと運営をトータルにサポートしています。

1985年の会社設立から34年、MSCはRSC(大規模ショッピングセンター)をはじめ、ファッションビル、アウトレットモール、パワーセンター^{*1}など、数多くの商業施設を手掛けてきました。時代の変化を捉えた先進的な施設戦略を立案し、長期的な街づくりまで視野に入れた独創的な商空間プロデューサーとして、業界の内外から高い評価を頂いています。

現在、商業施設は社会構造の変化に伴い、ライフスタイルが多様化し、消費構造や流通形態も、大きな変革期を迎えようとしています。モノ消費からコト消費を経て「感動消費/共生消費」の時代に入った商業施設は、公共性や娯楽性を取り入れたスマートシティ^{*2}のような地域のコミュニティづくりが、大切になってきています。

MSCとスペースが各々に持つノウハウを結集することで、次世代に向けた商業施設に取り組み、50年、100年と人々に愛され、親しまれる施設を作り続けることが我々に与えられた使命だと思っています。今後も両社は連携を強化し、地図に残る施設、人々に感動を与える施設づくりを目指していきます。

^{*1}: 郊外に立地しており、ディスカウントストアなどを集めたショッピングセンター

^{*2}: ITなどの先端技術を駆使し、街の電力を利用することで、省資源化を徹底した環境配慮型都市

連結決算開始に関するお知らせ

当社は、2019年12月期第1四半期より、従来の単体決算から連結決算に移行いたしました。

当社は、1986年11月に香港に「SPACE JAPAN CO., LTD.」を設立いたしました。また、2018年2月には「株式会社エム・エス・シー」と資本提携を伴う業務提携を行い、子会社としております。当社業績に与える影響が軽微であったことから、前事業年度までは非連結子会社としていたものの、今後重要性が増すことが予想されるため、当事業年度より連結の範囲に含めることといたしました。

なお、「SPACE SHANGHAI CO., LTD.」につきましては、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関して重要性が乏しいと判断し、連結の範囲に含めておりません。

株主様アンケート結果のご報告

アンケートへのご協力ありがとうございました。今後のIR活動の参考とさせていただきます。一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介します。(アンケート実施期間:2019年3月26日~2019年5月31日)

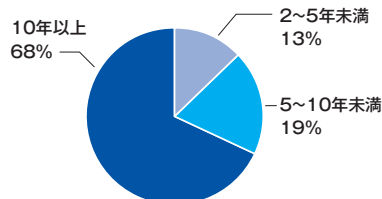
皆様からのコメント

- 会社説明会を開催してほしい。
- ROE向上に努めてほしい。従業員を大切に。
- いつも楽しく拝見しております。今までに伺ったことのある場所も貴社が手掛けていらっしゃる大変感慨深く、今後も応援いたします。
- 株主総会に出席し、貴社の内容、新経営陣による今後の発展について大変よくわかりました。
- 商空間プロデュース企業として、幅広い分野に展開しているので、今後の一段の成長が期待できている。今後とも、技術を磨きながら、安定した発注先の確保に努めてほしい。

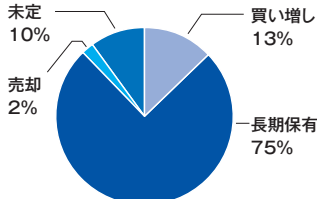


総務部 広報課
菊田 啓介

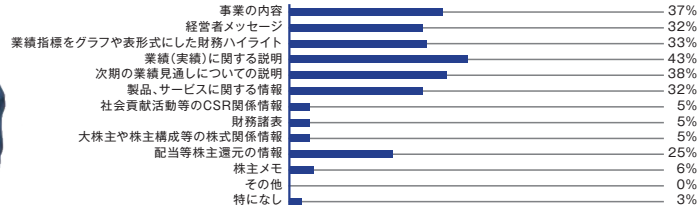
あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



株主通信のどの掲載内容を中心にご覧になりましたか(いくつでも)。



会社概況 (2019年6月30日現在)

会社概要

商 号	株式会社スペース(SPACE CO., LTD.)
本 社	東京都中央区日本橋人形町三丁目9番4号
創 立	1948年(昭和23年)7月14日
設 立	1972年(昭和47年)10月5日
資本金	33億9,553万7,101円
従業員	連結:953名 単体:935名

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで						
定時株主総会	毎年3月						
株主確定基準日	<table border="1"> <tr> <td>定時株主総会</td><td>12月31日</td></tr> <tr> <td>期末配当金</td><td>12月31日</td></tr> <tr> <td>中間配当金</td><td>6月30日</td></tr> </table> その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告した一定の日	定時株主総会	12月31日	期末配当金	12月31日	中間配当金	6月30日
定時株主総会	12月31日						
期末配当金	12月31日						
中間配当金	6月30日						
単元株式数	100株						
公告掲載新聞	日本経済新聞						
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社						
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。						

株式の状況

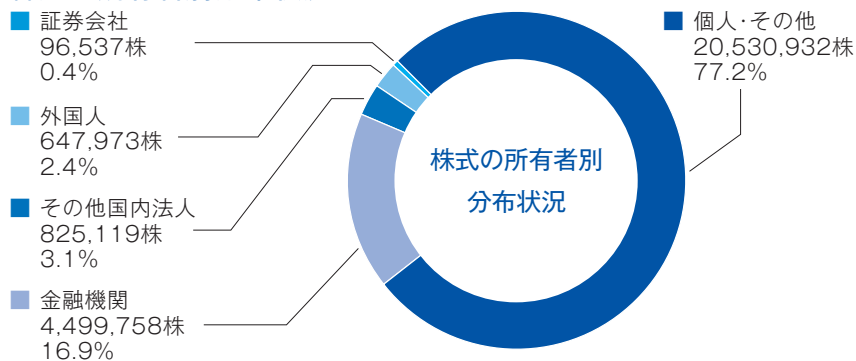
発行可能株式総数	44,736,120株
発行済株式の総数	24,161,898株(自己株式数2,438,421株を除く)
株主数	5,083名

大株主

株主名	持株数	持株比率
スペース従業員持株会	2,627,747株	10.9%
加藤 千寿夫	1,583,590株	6.6%
スペース取引先持株会	1,341,214株	5.6%
若林 弘之	1,124,420株	4.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	825,400株	3.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	704,000株	2.9%
株式会社三菱UFJ銀行	682,044株	2.8%
高津 伸生	637,098株	2.6%
高津 久仁枝	558,033株	2.3%
若林 幸子	554,520株	2.3%

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別分布状況



取締役

代表取締役会長	林 不二夫
代表取締役社長	佐々木 靖浩
取締役	加藤 千寿夫
取締役	若林 弘之
取締役	塚谷 光次
取締役	森田 昭一
取締役	庄村 香史

取締役	乙部 勝司
取締役	松尾 信幸
取締役(常勤監査等委員)	菊池 利夫
取締役(常勤監査等委員)	三品 和久
社外取締役(監査等委員)	前川 弘美
社外取締役(監査等委員)	和田 良子
社外取締役(監査等委員)	田口 聡志

福岡事業部 オフィス移転のお知らせ

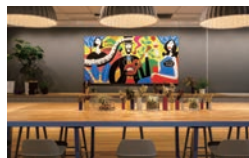
当社は全国14地区に事業所を設け、各地区のクライアントからの要望に迅速に対応できる体制をとっております。今回、福岡事業部の人員拡大に伴い、オフィスを移転しました。

「成長を加速するオフィス」をコンセプトに掲げ、社員一人ひとりが自律的に働けること、社員同士のコミュニケーションが活性化することを目指しました。

社員自身が生き生きと働き、これまで以上に創造性を発揮できるオフィスで、顧客をはじめ、施設に訪れるお客様やそこで働く従業員も含めた、多くの方が笑顔になる空間づくりを目指してまいります。

■福岡事業部

住所:福岡市博多区博多駅東3-13-21 エフビル4F TEL:092-431-3020

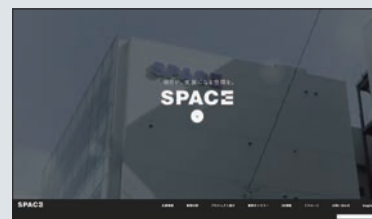


クリエイティビティを刺激する多目的空間



受付はクラウドシステムを導入

当社ウェブサイトのご紹介



最新の実績紹介の他、ニュースリリースやIR情報など、情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

スペース

検索

<https://www.space-tokyo.co.jp/>

